

新しい道を切り拓いた いわての女性たち ③ 第一回世界母親大会代表 土川 マツエ

土川マツエさんは二戸郡一戸町小繋（現在）から 1955（昭30）第1回日本母親大会に代表として出席し、同年スイスで開催された第1回世界母親大会の代表団 14名に名を連ねました。帰国後、東北各地で報告会を開き、母親大会の種をまいた先駆者です。

マツエ（当時 54 歳）が母親大会の代表となった背景には、小鳥谷小繋集落での長い闘いの歴史がある。「小繋事件」は山の入会権をめぐる争いであった。地主が勝手に山の権利を譲渡したことに端を発し、農民たちは山に入る権利を奪われてしまった。地主派と反地主派との争いの中でマツエは育った。長期にわたる闘いは農民たちの暮らしをさらに悪化させ、1975（昭50）最高裁判決は敗訴であった。

大会の2年前 1953（昭28）東京つなぎ会のメンバーのひとりが小繋を訪れ、「女性の覚醒がなかったら山は守れない」と小繋の女性たちに学習させた。彼女たちに、なぜ敗訴したのかを気づかせた。小学校も満足に出ずカタカナがやっとのマツエは猛勉強の末、短期間で読み書きを習得。マツエを含む4人が日本母親大会に送り出された。

母親大会の生みの親である丸岡秀子は、大会で明かされた小繋の事情を世界中の人たちに知らせるべきと考え、反対する選考委員らを説得し、マツエを世界へと送り出した。当時1人80万円の渡航費用は、カンパや貧しい暮らしの中からの1円募金で集められ、子を思う母たちの願いが込められた。

帰国後は、岩手のみならず東北5県からも報告会の申込が殺到し、マツエは2年間で180カ所200回以上の報告会を開いた。その声は多くの農村女性の心に届き、母親大会の礎となる役割を果たした。



（報告会での土川マツエ）

その後亡くなるまで女性たちにメッセージを送り続け、1981（昭56）9月6日、80年の生涯に幕を閉じた。



（第1回世界母親大会（1955年、スイス）の様子
～『日本母親大会50年のあゆみ』日本母親大会連絡会より転載）

- 【参考図書】
- 『日本母親大会50年のあゆみ』日本母親大会連絡会 2009年
 - 『生きて輝いて～変動期を生きぬいた女性たちの記録～』熊谷佳枝（著）1998年
 - 『55年体制成立と女たち～戦後史ノート戦後編』女たちの現在を問う会（編）1987年

● 女性相談（本館）

相談受付電話 **019-604-3304**

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。
- 相談開設時間

	10:00	17:00	20:00
月	10:00 ~ 17:00		
火	10:00 ~ 17:00		
水	10:00 ~	20:00	
木	10:00 ~	20:00	
金	10:00 ~ 17:00		

（第2火曜日、年末年始、祝日は休み）



もりおか女性センター

管理・運営：特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて

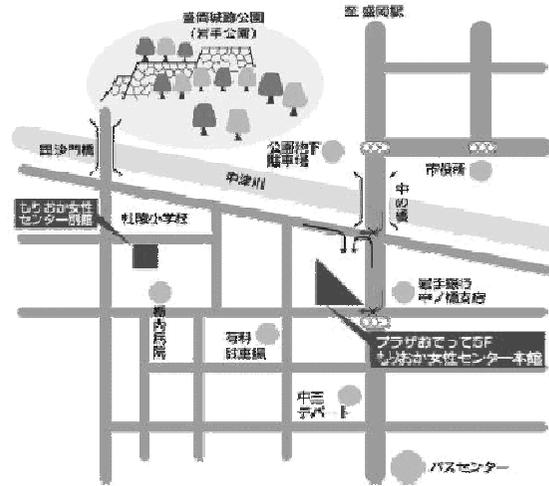
もりおか女性センターは、女と男がともに参画する社会をめざして女性をとりまく様々な問題を考え、解決するための施設です。男女を問わず、すべての市民が気軽に利用できます。

■ 本館

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって5階
電話番号 (019) 604-3303 FAX 050-2013-4750
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:30（土日祝 17:00まで）
休館日 毎月第2火曜日、年末年始

■ 別館

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町 2-8（旧盛岡市働く婦人の家）
電話番号 (019) 624-3583（FAX 兼）
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:00
休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始



（バス）
盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車
本館まで徒歩3分、別館まで徒歩8分

※女性センターには、本館・別館ともに専用の駐車場はありません。
おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

あとがき

◆今年も早いのもう11月ですね。一気に寒くなって、体調管理が難しい時期です。みなさん風邪などひいてないでしょうか？寒いと家にこもりがちですが、暖かい格好をして外に出かけてみようと思います。（S）

◆もりおか女性センターの横を中津川が流れており、今年もサケが帰ってきました。そして盛岡城跡公園のきれいな紅葉も見えます。それを毎日眺めながら出勤できることに小さな幸せを感じています。街中でこんなに自然と触れ合うことができるなんて最高です！（N）

ひと ひと
一 女と男、ともに参画する社会をめざして一

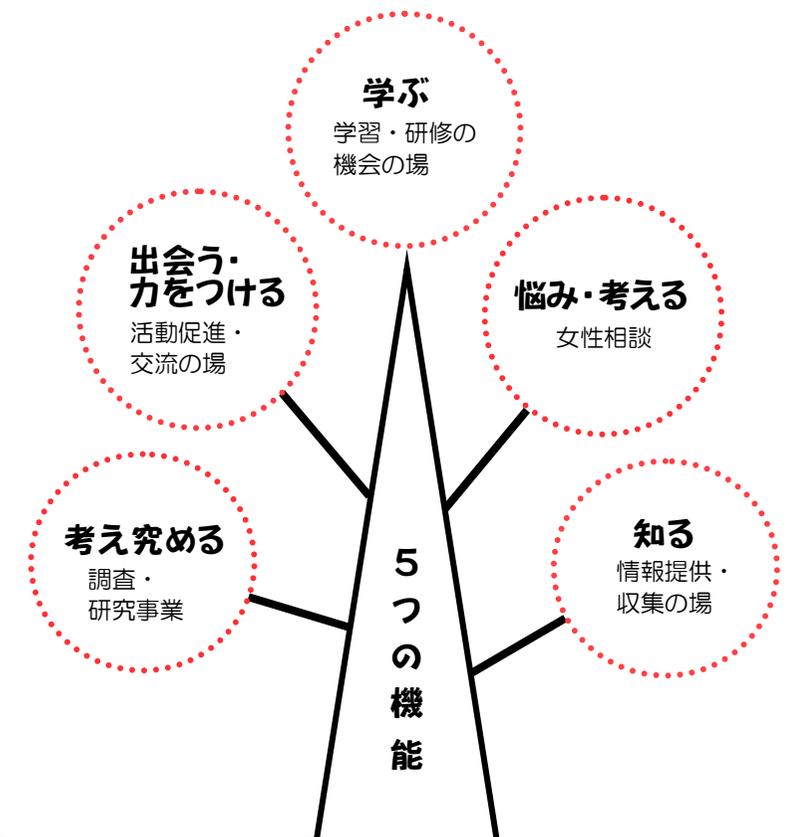
もりおか女性センター

2009年
11月
No. 21

ニュースレター

内容

- ◎ 事業案内
女性に対する暴力をなくす運動、男性講座
- ◎ フェスティバル 2009 終了報告
- ◎ 新しい道を切り拓いた いわての女性たち など



平成21年度事業テーマ『広げよう、わたしたちの学びと行動を！』

発行：もりおか女性センター

● イベントの情報

女性に対する暴力をなくす運動2009

11/13日(金)～20(金)

国では毎年11月12日～11月25日を「女性に対する暴力をなくす運動」の期間として、地方公共団体、女性団体、その他関係機関が協力・連携し、意識啓発に取り組んでいます。

会場 プラザおでって3F おでってホール

●11/17(火) 18:00～19:30

＜映画上映会＞

「纏足(てんそく)～10センチの黄金蓮花をさがして」

(2004年 中国/カナダ 48分)

※「女たちの映像祭・大阪」上映作品
/日本語字幕制作“波をつくる女たち”

●11/20(金) 13:00～15:40

＜講演・パネルディスカッション＞

基調講演(13:00～14:00)「被害者支援」(仮)

講師：中谷敬明さん

(岩手県立大学社会福祉学部講師、(社)いわて被害者支援センター理事)

パネルディスカッション(14:10～15:40)

「性暴力被害の実態と支援

～青森の裁判員裁判に見る～

コーディネーター：中谷敬明さん

パネリスト：飯田裕美子さん(共同通信社盛岡支局長)

鹿内文子さん(NPO法人「ウィメンズネット青森」理事長)

柳本祐加子さん(中京大学法科大学院准教授)

参加無料
(要事前申込)

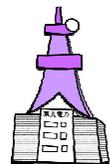
その他の期間中の主な催し(会場：もりおか女性センター本館)

●暴力防止啓発パネル展示 ●関連図書とビデオ上映

●メッセージ付きTシャツ展示

●パープルリボンプロジェクト

パープルリボンを身につけたり、飾ったりすることで女性に対する暴力をなくしたいという意思表示につながります。暴力根絶にご賛同の方、リボンの作成にご協力ください!



＜協力：東北電力岩手支店＞

●鉄塔の光がパープルに!

11/13(金) 18:00 ライトアップ開始

運動期間中、東北電力岩手支店の鉄塔がパープル色に点灯します!

期間：11/13(金)～11/20(金) 18:00～20:00

● 講座の情報

男性応援講座「サクリ、サクサク弁当男子♪」

弁当作りから始める 生活力アップ!



講師：小原薫さん(パンパル&フルーツマイスター、アトリエAfternoon Tea代表)

日程：12/2(水)・9(水)・17(木)、(全3回)

時間：19:00～21:00

会場：女性センター本館 生活アトリエ

対象：弁当作り初心者・初級者の男性(原則、全回参加できる方)

定員：15人

参加費：受講料無料、但し、材料費のみ自己負担1,500円

申込方法：11/19(木)10時から電話(604-3303)にて先着順に受付。

● 事業の報告

フェスティバル 2009 が終了しました!



映画会

もりおか女性センターフェスティバルが今年も10月2日(金)、3日(土)の二日間、本館と別館の二会場にて開催されました。

本館のプラザおでって会場では、講演会や映画会、そして講座修了生による企画発表や広場市などが行われました。また、別館では日頃別館を利用しているさまざまな活動団体の演技発表、作品展示、茶席やお団子などの販売、そしてAEDの体験コーナーもあり活気溢れる2日間でした。多くの皆さまにご来場いただき、ありがとうございました。

講演会

■基調講演&パネルディスカッション

「みんなで考えよう!子どもの権利」

人間として尊重され、自分らしく育ち、意見を言う。子どもにはその権利があると謳った「子どもの権利条約」が国連で採択されて20周年。遅れること5年後に日本は批准しました。

「権利」が受け入れ難い日本の土壌とはいかなるものなのか、「子どもの権利条約」のスペシャリスト喜多明人さん(早稲田大学文学部教授 子どもの権利条約ネットワーク代表)が、これまでの経過と全国の活動を紹介し、これからの問題についてお話をしてくださいました。



パネルディスカッションでは、コーディネーター・田代高章さん(岩手大学教育学部准教授)、パネリスト・喜多明人さん、村松敦子さん(キャップネット・みやぎ)、奥田陸子さん(子どもの遊ぶ権利のための国際協会日本支部)から、それぞれの活動事例を紹介していただきながら、地域のネットワーク作りについての学習をしました。



利用団体の発表

31団体が参加発表!



■記録映画

『葦牙 -あしかび- 子どもが拓く未来』上映会&トーク

映画の舞台となったみちのくみどり学園生6名による太鼓演奏でオープニングを飾り、記録映画『葦牙-あしかび-子どもが拓く未来』が上映されました。



同学園長の藤澤昇さんは、児童虐待をテーマにしたこの映画を撮影するに至る経緯や裏話を披露しました。最後に、この映画に寄せた学園生の感想文が紹介され、「当初はさらしものになりたくないという気持ちがあったが、作品を観たとき、初めて仲間の苦しい過去を知りこみあげてくるものがあった。この映画を多くの人に観てほしい。そして自分たちのような子どもを増やさないで欲しい」という映画監督に託したメッセージに、会場からは温かい拍手がおこりました。

そして自分たちのような子どもを増やさないで欲しい」という映画監督に託したメッセージに、会場からは温かい拍手がおこりました。

講座修了生企画



自分史講座修了生による「自分の人生の中の10年」

起業講座修了生による「生活発見フェスタ」

広場市



皆さんの活動の成果発表です!